

## 新学期の予習のしかた

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾の塾長の林明夫です。今朝も開倫塾の時間をお聴きいただきありがとうございます。

小・中学生の皆さんは、4月に入ってから教科書や教材が配付されると思いますが、高校生の皆さんは、3月中に配付されると思います。

では、それをどうしたらよいか。好きな科目だけでもよいので、どんどん予習をしましょう、というのが私の考えです。学校の授業が始まる前に、教科書を予習してよいのかという疑問があるかと思いますが、もちろんした方がよいと私は思います。一度配付された教科書や教材は皆さんのものです。どんどん予習してよいと思います。ただ、一つだけ注意したいことは、予習したからといって、私はもうそんなこと知ってるよなどと知ったかぶりをしないことです。それは品性に欠けます。それさえ守れば、どんどん予習をした方がよいと思います。

次は、どのように予習をすればよいかということですが、自分の好きなようにやってよいのです。例えば、大きな声を出して教科書の本文を最初から読んでみる、これも一つの予習ですね。科目ごとに用意した新しいノートに要点をまとめたり問題を解いたりしてみる、これも予習の1つですね。わからない言葉を辞書を使って調べたり、新しい語句を書き取り練習するのも予習です。このように、いろいろな予習の仕方があります。

5教科以外の実技科目は、例えば、音楽なら、新学年の音楽の教科書とか教材に出てくる曲を、ピアノやリコーダー、ハーモニカなど自分のできる楽器で演奏したり、歌を歌ってみるのも予習です。楽器が演奏できたり、音符通りに歌が歌えることは素晴らしいことです。また、素晴らしい曲だと思うものがあれば、CDなどを手に入れて、全曲聴いてみるのも予習です。家庭科や美術、保健体育などは、教材や教科書を前の方からじっくり読んで、料理の作り方が出ていたら料理を実際につくってみる、絵を描いてみる、外でできる運動種目があったらやってみる、そういうことも非常に面白いです。1年間の勉強の流れを知った上で、面白そうなものには取り組んでみる。これもとてもよい予習になると思います。私は、小学生の時ばかりでなく、中学生、高校生になっても社会科が大好きだったので、新学年に教科書が配られますと、新しいノートを用意して、項目をうまく書き出して、大切なところを書き写していました。社会だけは、ゴールデンウィークが始まる前までには、教科書の大部分をやり終え、大事なところを押さえていました。社会は、固有名詞とか難しい言葉が非常に多いで

の、少し早めに勉強しておくとう業内容がわかりやすいようす。早めの勉強は、非常に役に立ちました。

英語はどうしたらよいかとうと、中学生までは、教科書を何回も読むことをお勧めします。私も、テープを用意して教科書を読む練習をしていました。よく読めるようになったら、意味調べをしたり、単語の書き取り練習をするとよいと思います。高校生の皆さんは、教科書を一課ずつコピーし、一段落ずつ切り取って、見開きのノートの左のページの上の方に貼り、その下に単語調べをして意味を書いていく、右のページは全部あけておくとう非常によい勉強ができると思います。そして、中学生以上に、単語を書く練習を毎日していきましょう。数学や国語なども、同じような形でどんどん予習をしていくとよいと思います。

今日は、新学期になり学校から教科書や教材を配付つれたら、どのようなやり方で予習していったらよいかについてお話させていただきました。皆さんも、いろいろな工夫をしてどんどん予習をして下さい。